イノベーターシップ®
養成プログラム（第８期）

2022年3月

LiFESHIFT

イノベーターシップ® 養成プログラム7

01

次世代のグローバルビジネス環境に
向かって、「理想とする未来を構想し、
実現する力」を身につける。

02

VUCAの時代、いま求められるのは
単なるリーダーシップから
イノベーターシップへ

※「イノベーターシップ」は多摩大学大学院の登録商標です。

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

熱い思いと実践知で、

世界の現実を転換する

リーダーの力量

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

今なぜ イノベーターシップ なのか？

リーダーシップを超える「イノベーターシップ」

短期的な利潤の追求を目的としたマネジメントやリーダーシップでは、長期的な顧客の支持を得ることはできません。

次世代のグローバルビジネス環境の中では、自らの視座を持ち、**「真善美を目指し、新しい世界を構想して現実を変えていく、これまでのリーダーシップの概念を超える力量」**が今求められています。

ご参加の皆様に**理想とする未来を構想し、自ら積極的に関与する実践力＝「イノベーターシップ」**を身につけていただき、これからのグローバルビジネスを牽引していく人材としてご活躍いただけるよう、本プログラムを開発いたしました。

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

未来創造へ向けたイノベーターシップ

VUCAの時代を切り開く知恵と責任感こそ
自らの人生100年時代、80歳現役力の基盤です

マネジメント
管理・ガバナンス

イノベーターシップ
未来創造

リーダーシップ
変革・差別化

適切に組織を運営し、競争戦略を着実に実行していくマネジャーの力量

熱い思いと実践知で世界の現実を転換し、未来の‘社会’を築くイノベーターの力量

変化する時代に俊敏に対応し、成長戦略を実現していくリーダーの力量

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

イノベーターシップへの成長

マネジメント

- 結果を出すプロセスとデータをきちんと管理し、所定の目標を達成する
- そのために、人・モノ・カネ・情報・関係性を適切にマネジメントする
- 数値や結果だけを追わない
- 組織内外の調整を図り、全体最適、顧客の利益の視点を忘れない

リーダーシップ

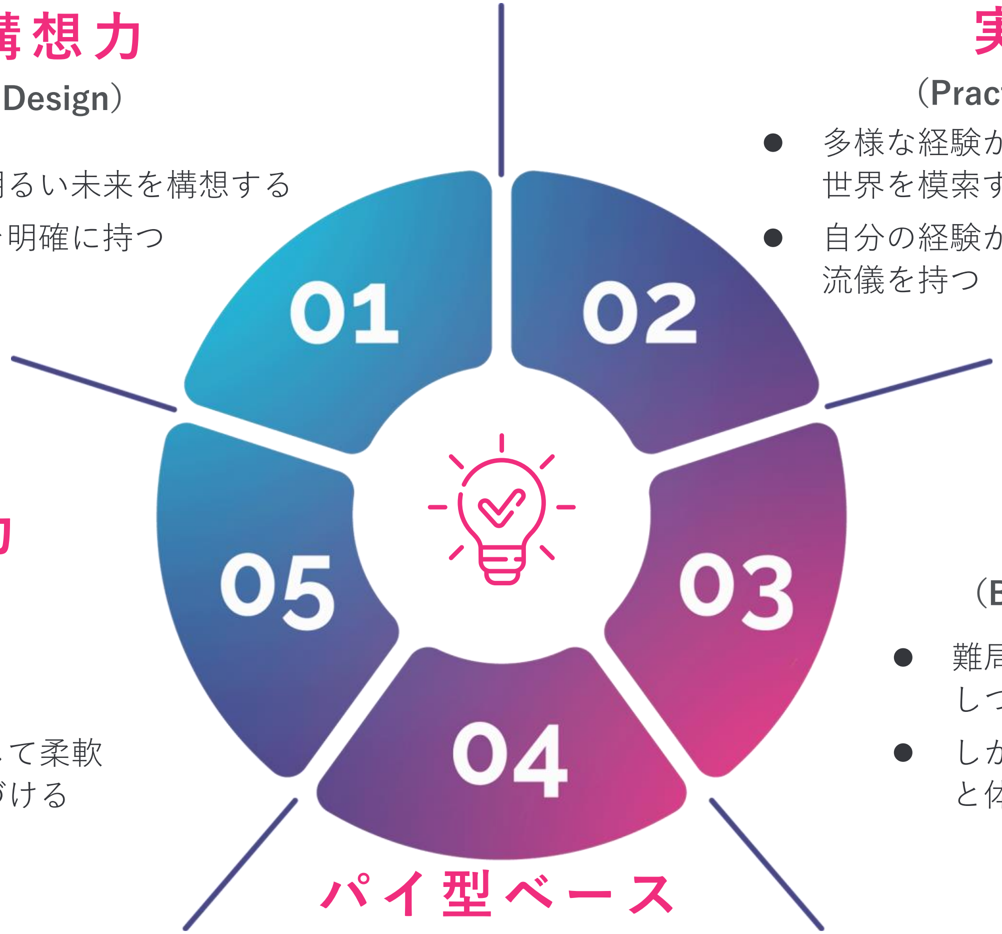
- 進むべき方向のわからない状況の中でも、ぶれないビジョン、戦略を示し、針路を判断する勇気を持つ
- ビジョンに基づく中期的な視点で、人々を動機づけ、困難な課題解決にチームで取り組む司令塔となる

イノベーターシップ

- 世界を変えるようなイノベーション、新しい価値を創造したいという熱い思いをもつ
- 世界のためを思うビジョンを描き、そこへ向かって地道な作業をいとわず、試行錯誤から学びながら、知を創造し、事を成す
- その実現へ向けて、リーダーシップを発揮しながら、適切なチームづくりを行い、人々をインスパイアし、育てていく

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

イノベーターシップの5つの力



未来構想力
（Future Design）

- 時代を読んで、明るい未来を構想する
- 自分のビジョンを明確に持つ

実践知
（Practical Wisdom）

- 多様な経験から学んだ洞察力で新たな世界を模索する
- 自分の経験から学んだ価値観、仕事の流儀を持つ

突破力
（Breakthrough Power）

- 難局においてもあきらめずにしつこくやり抜く
- しがらみを突破するアイデアと体力

パイ型ベース
（π -shape Knowledge Base）

- 未来を洞察する幅広い知見・教養を持つ
- 複数の一流の専門分野を持って、知の交差点でアイデアを生み出す

場づくり力
（Ba Creation）

- 共感を得る人間力とコミュニケーション
- ネットワークを駆使して柔軟な組織を創り、動機づける

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

本プログラムで得られる「5つの力」

01 時代を正しく認識し、未来を見据える洞察力

02 ぶれない自らの価値観に基づく高い志

03 ビジネスモデルを創造・変革するイノベーション構想力

04 Unique Value Proposition を生み出す知の編集力

05 チームをワクワクさせ闘う集団を作るコミュニケーション力

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

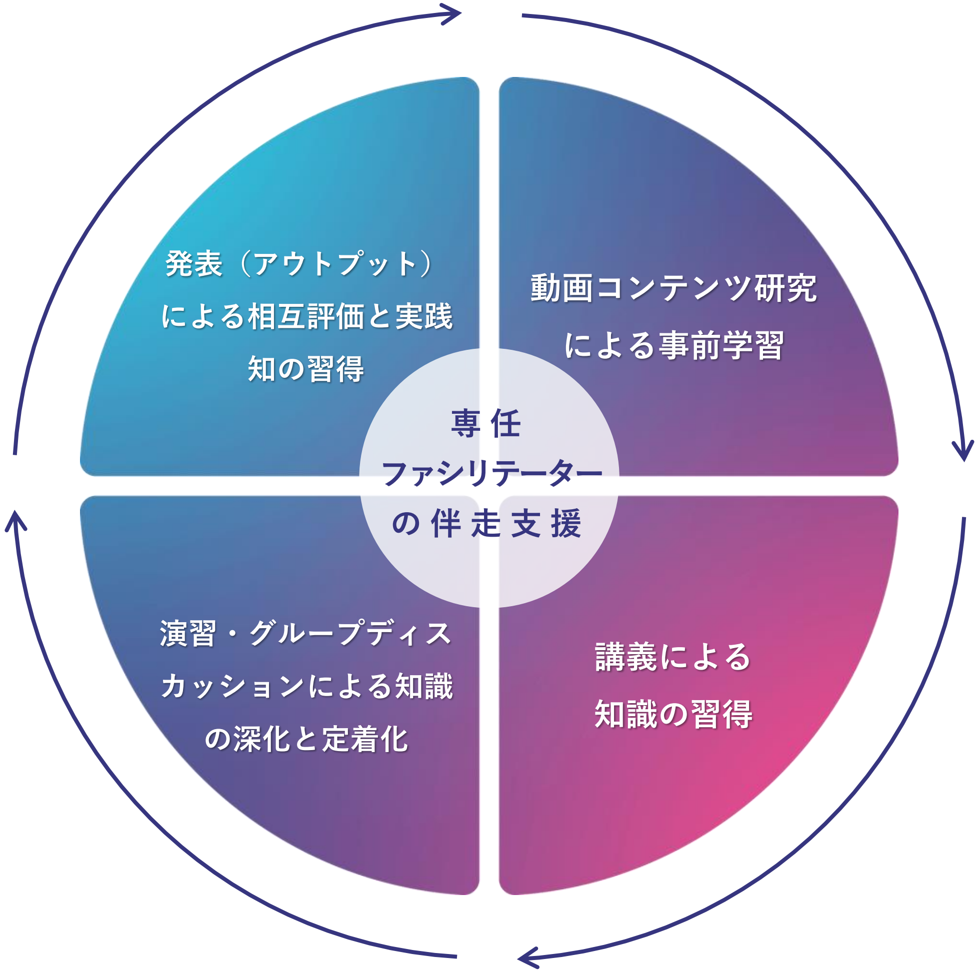
本プログラムの特徴

実践知が身につく構成と、明確なゴール設定

各セッションは講義、グループディスカッション、グループ発表、演習、動画コンテンツ研究など、実践知が身につく参加型の構成内容なっています。また、得られる力を明確に定義し、進捗を確認しながらプログラムを進めることができます。

プログラム全体を通じ専任のファシリテーターが伴走し、プログラム全体のストーリー性を保ちながら理解促進をサポートします。

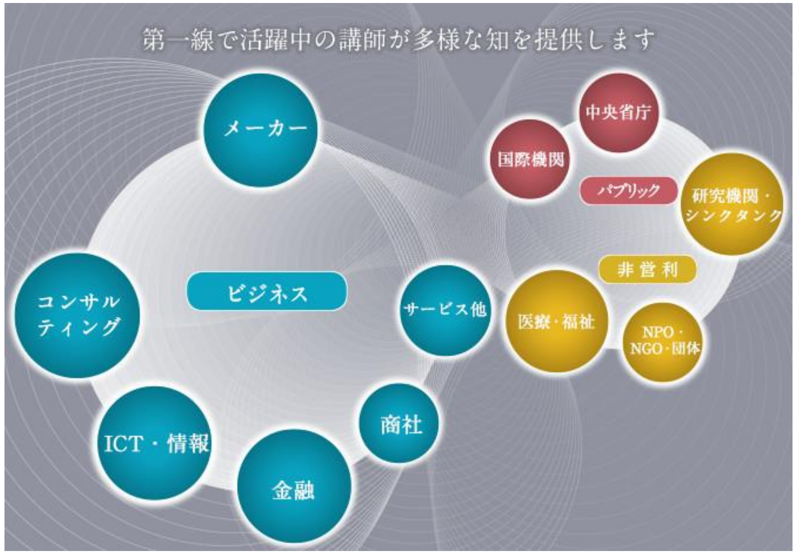
プログラム終了後には「時代認識の糸口が見えた」「自分の思い、ビジョンを明確にできた」などの成果をお約束します。



© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

多摩大学大学院の気鋭の教授陣が講師を担当します

TAMA GRADUATE SCHOOL OF BUSINESS
多摩大学大学院



多摩大学大学院は日本で最も
イノベーション系講座が充実したMBAです
イノベーション各分野の第一人者から最先端の
セオリー、スキル、実践的ノウハウを学び
「イノベーターシップ」が身につきます。

多摩大学大学院は、従来のMBAとは違い、「イノベーターシップ」をキーコンセプトに社会人の知の再武装の場を提供しています。多様なバックグラウンドを持つ講師陣がそろい、受講生も社会人経験豊富な多様なミドルたち。教員との議論や異業種交流を通じて、豊富な実践知を学び合えます。

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

2022年度で8期目の開催を迎えます　［ 過去参加企業（抜粋）］

会社名　50音順
旭化成株式会社
株式会社オリエンタルランド
花王株式会社
協立情報通信株式会社
株式会社構造計画研究所
サトーホールディングス株式会社
参天製薬株式会社
株式会社ジェイテクト
ダイキン工業株式会社
大日本印刷株式会社
田辺三菱製薬株式会社
テルモ株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社トランストラクチャ
西尾張シーエーティーヴィ株式会社
株式会社日産フィナンシャルサービス
日清製粉株式会社
株式会社野村総合研究所
パイオニア株式会社
富士通株式会社
富士通ITマネジメントパートナー株式会社
株式会社マネジメントサービスセンター
マレリ株式会社（旧カルソニックカンセイ株式会社）
三井住友信託銀行株式会社
ライオン株式会社

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

本講座の流れ

セッション日程	テーマ	講師 （2021年度担当講師）	イノベーターシップのテーマ
第一回 10月13日-14日 （2日）	● キックオフ ● イノベーターシップ総論 ● ロールモデルのゲスト講演	佐藤勝彦 徳岡晃一郎 荒金久美	● 総論
第二回 11月16日-17日 （2日）	● ルールメイキング戦略の概要、意義、実践例 ● DXとデータサイエンスマインド ● ビジネス創造とマーケティング戦略	國分俊史 前田英志 本荘修二	● 未来構想力 ● 突破力
第三回 12月14日（1日）	● 社会課題への挑戦 ● NPO、社会起業家の実践者訪問	佐藤勝彦	● 実践知 ● 突破力
第四回 1月19日-20日 （2日）	● テクノロジーイノベーション経営の現在と未来 ● 公共哲学 ● オーセンティックリーダーシップ	栗山実 小林正弥 徳岡晃一郎	● 未来構想力 ● パイ型ベース ● 場づくり力
第五回 2月16日-17日 （2日）	● リーダーシップコミュニケーション ● イノベーターシップのまとめ	佐藤勝彦 徳岡晃一郎	● パイ型ベース ● 場づくり力

毎回のアサインメント ▶ 動画学習テーマを各自選択し、ライティングを行う

LiFESHIFT

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

講師紹介（予定）

徳岡 晃一郎（兼プログラムディレクター）

多摩大学大学院 経営情報研究科長 教授、（株）ライフシフトCEO、一般社団法人知識リーダーシップ綜合研究所 所長

日産自動車人事部、欧州日産を経て、1999年よりフライシュマン・ヒラード・ジャパンのSVP/パートナー。また、2006年から多摩大学大学院教授を兼任野中郁次郎名誉教授との共同開発によるMBB(思いのマネジメント)の第一人者。著書に『４０代からのライフシフト実践ハンドブック』、『MBB:思いのマネジメ ント』(野中郁次郎名誉教授、一條和生教授との共著)、『ビジ ネスモデルイノベーション』(野中名誉教授との共著)、『人工知能×ビッグデータが「人事」を変える』(福原正大氏との共著)、『イノベーターシップ』など多数。東京大学教養学部卒業。

佐藤 勝彦（兼プログラムディレクター）　**※ほとんどのセッションでファシリテーションを担当します。**

多摩大学大学院特任教授、（株）ライフシフト エグゼクティブコンサルタント、フライシュマン・ヒラード・ジャパンSVP

日産自動車株式会社にて主に組織・人事を担当。米国における現地生産プロジェクト及び米国での現地設計開発会社設立に参画。人事次長を経て、1995年フォードジャパン入社。人事部長、社長、会長を歴任。現在はフライシュマン・ヒラード・ジャパンのシニアバイスプレジデントとして経営者育成、グローバル人材育成、リーダーシップ・コミュニケーション等を担当。国内、海外での講演多数。

國分 俊史

多摩大学大学院 教授　ルール形成戦略研究所所長、パシフィックフォーラム シニアフェロー、
EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング Strategy　パートナー

IT企業の経営企画、シンクタンク、米国系戦略ファームA.T. カーニー プリンシパル、米国系会計ファーム ヴァイスプレジデントパートナーを歴任。社会課題および安全保障経済政策を起点としたルール形成戦略の第一人者として各国の安全保障経済政に翻弄されない企業戦略の立案を支援。また、日本の安全保障政策の研究者の育成と就業機会の創出にまで取り組んでいる。著書に『世界市場で勝つルールメイキング戦略 技術で勝る日本企業がなぜ負けるのか』。

前田 英志

多摩大学大学院教授、日本IBM　戦略コンサルタント

東京大学大学院修了(機械工学)、一橋大学国際企業戦略科修了(MBA)。専門は技術戦略とビジネスアナリティクス。日本IBM戦略コンサルティンググループにて、データ戦略をリード。データサイエンティスト育成道場プログラムを開発し、小売業、製造業に展開。この取組みは、経済産業省のものづくり白書(2017)に掲載されている。過去IBMの経営企画に所属し、IBMの変革プロジェクトにも参画。IBMアカデミー・オブ・テクノロジーのメンバー。著書に「IBMを強くしたアナリティクス（共著、日経BP社）」がある。

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

講師紹介（予定）

本荘 修二

多摩大学大学院経営情報学研究科（MBA）客員教授、日本マーケティング協会会員誌「マーケティング・ホライズン」編集委員

本荘事務所代表として、新事業を中心に、イノベーションやマーケティング、IT関連などの経営コンサルティングを手掛ける。日米の大企業、ベンチャー企業、投資会社などのアドバイザーや社外役員を務める。
IT特化の投資育成会社General Atlantic LLC日本代表などを経て、現在に至る。東京大学工学部卒業、ペンシルベニア大学ウォートン経営学修士、早稲田大学博士（学術）。ウォートンクラブオブジャパン理事。

栗山 実

データサイエンティスト・経営戦略アドバイザー・スタートアップ経営・大学院教員

ビッグデータ統計解析による経営戦略立案、データドリブン事業構想の設計・事業化、データ技術実装のためのアルゴリズム開発など、「データサイエンス×事業戦略」の領域を専門的に手掛ける。また、IT・HR・ヘルスケア・物流など様々な事業分野でデータ技術を活用する複数のスタートアップに共同創業者・取締役・データサイエンス統括などの立場で参画。東京大学理学部卒・同大学院修了（理学修士；素粒子論）。マッキンゼー・アンド・カンパニー等を経て独立、現在に至る。

小林 正弥

千葉大学大学院人文社会科学研究科 教授

専攻は政治哲学、公共哲学、比較政治。公共哲学・コミュニタリアニズムの研究を通じ、ハーバード大学のマイケル・サンデルと交流をもち、2010年4月～7月に放映されたNHK教育テレビ「ハーバード白熱教室」で解説者を務める。他、共和主義、地球的スピリチュアリティ・環境・福祉、恩顧主義と習合主義、政治的腐敗などを研究テーマとしている。近年では、公共性、対話をキーワードとした実践的な哲学の展開やコミュニタリアニズム研究、ポジティブ心理学の研究に力を注いでいる。

荒金 久美　※ゲストスピーカー

カゴメ株式会社 取締役

東京大学大学院修了後、株式会社コーセーに入社。 研究所にて化粧品の分析・基礎研究・素材開発に携わる。 その後、執行役員商品開発部長、執行役員研究所長、取締役品質保証部・購買部・商品デザイン部担当、監査役を歴任。 研究所時代には数多くのヒット商品を世の中に送り出し、2005年にはライスパワーエキスNo.11を配合した「モイスチュアスキンリペア」で日経ウーマン主催のウーマン・オブ・ザ・イヤー 2005 （ヒットメーカー部門2位、総合8位）を受賞。2020年より現職

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

イノベーターシップ® 養成プログラム　セッション詳細（1）

Session1 イノベーターシップで時代を切り拓く

●＝講義中心　■＝演習、発表
◆＝グループディスカッション、発表
（以下、Session6まで同様。）

担当講師	徳岡 晃一郎／佐藤 勝彦／荒金 久美 （ゲストスピーカー）			
講座概要	常に変動し、不確実な未来、複雑で捉えきれない現実の中で我々は利益を確保するだけでなく新たな価値創造が求められている。これまでのリーダーシップの概念では時代は切り拓けないのではないか。確かな時代認識とともに現実に流されず、未来を構想できるスケールの大きな“イノベーターシップ”が今求められている。 アメリカ、ヨーロッパそしてアジアでダイナミックに“グローバル化”が変貌していく中で自社の抱える課題を知の共創という視点で整理しながら、自らイノベーターとしてどう関わりあっていくのか深堀したい。			
推薦図書	『未来を構想し、現実を変えていくイノベーターシップ』 徳岡晃一郎（著）／東洋経済新報社			
1日目	AM	開講式・オリエンテーション ●イノベーターシップとは何か（徳岡） ◆自己紹介	PM	●ゲスト講演 ： イノベーションを実現する力とは ～化粧品開発におけるイノベーションプロセスの視点から～（荒金氏） ◆イノベーターシップ　自職場課題から考える <初回終了後懇親会を予定しています>
2日目	AM	●経営のグローバル化再考 （佐藤） ■我が社（部門）のグローバル化の現状と課題	PM	◆我が社（部門）のグローバル化の現状と課題 （佐藤） ■本研修で何を学ぶか？ どう学ぶか？ ■発表：ラーニングステートメント

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

Session2 未来を切り開く視点：「ルール形成戦略」と「DXとデータサイエンスマインド」

担当講師	國分俊史　／　前田英志			
講座概要	1. イノベーションは製品や技術の革新にとどまらない。 イノベーターに求められるのは一段高い視点から社会システムそのものを変革することである。 ルールをつくりながらビジネスを成長させていくーその意味と方法を論ずる。「マーケット」を超えた社会と企業の関係についての新しい世界像とそのビジネス上の意味を学んでほしい。 2. データドリブン経営とは、「データ」と「アルゴリズム」に基づいた客観性の高い意思決定を経営の世界で行うことである。その対立概念は、KKD（＝勘と経験と度胸）経営である。KKD経営における「経験」と「勘」が、データドリブン経営における「データ」と「アルゴリズム」にそれぞれ該当する。本講義は、企業がデータドリブン経営の成熟度を向上するために必要な4つの要素*について、具体的な先行企業の実例を通じて、学ぶことを目的としている。*①ビジネス価値を実現するための変革プロジェクト（ユースケース）②デジタルテクノロジーを活用するためのデータプラットフォーム　③データドリブン経営を推進するための組織　④データサイエンスに関わる高度データ人財の育成			
推薦図書	『世界市場で勝つルールメイキング戦略　』　國分俊史、福田峰之ほか（著）／朝日新聞出版社			
1日目	AM	●ルールメイキング戦略の概要、意義、実践例 ●グローバル戦略と日本企業の課題	PM	●◆DXとデータサイエンスマインド

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

イノベーターシップ® 養成プログラム　セッション詳細（2-2）

Session2 未来を切り開く視点：「ビジネス創造とマーケティング戦略」

<table>
<tr><td>担当講師</td><td colspan="4">本荘修二</td></tr>
<tr><td>講座概要</td><td colspan="4">新事業や事業転換なくして、既存事業の延長上では、将来は危うい。
本セッションでは、事業創造の理論と演習により、未来に挑む視点と実践的スキルの醸成を図る。さらに、マーケティングに注目し、より実現性が高く顧客・市場にマッチした事業創造、そして成長ポテンシャルのある事業化のための、新事業マーケティングを学ぶ。
自分事として体験し、気づきやインサイトを得るため、新事業案の発表やグループワークを含む演習を行う。</td></tr>
<tr><td>推薦図書</td><td colspan="4">『新規事業の実践論』麻生要一著、ニューズピックス
『インキュベーションの虚と実』本荘修二著、ダイヤモンドオンライン連載（推薦記事を選定）</td></tr>
<tr><td>1日目</td><td>AM</td><td>●イノベーションと事業創造
●新事業マーケティングI</td><td>PM</td><td>●事業創造演習
●ビジネス機会の特定（Opportunity Recognition）
●新事業マーケティングII</td></tr>
</table>

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

イノベーターシップ® 養成プログラム　セッション詳細（3）

※下記予定は変更と
なる場合があります。

Session3　社会課題の解決に取り組んでいる現地でイノベーターシップを考える

担当講師	佐藤 勝彦 / NGO・社会起業家			
講座概要	これまでの会社を中心とした市場経済や社会構造が制度疲労を起こし、その時々の手直しでは、限界が来ている。ＮＰＯやＮＧＯに代表されるような非営利法人や柔らかな組織、コミュニティが新しい視点、価値軸で社会課題の解決に取り組み、大きな成果を出してきている。 本セッションでは、いくつかのNGOを実際の現場で訪ね、その活動を確かめ、取り組んでいるリーダーとのディスカッションを通して、社会における企業の役割そしてイノベーターシップとは何かをじっくり考えたい。			
1日目	AM	2022年度版 ≪国際環境NGOグリンピースジャパン≫ 環境・気候変動 ●講演 ◆ディスカッション	PM	2022年度版 ≪AAR Japan（難民を助ける会）≫ 平和・公正、多様性 ●講演 ◆ディスカッション

■国際環境NGOグリンピースジャパン
※地球環境と人々の暮らしのために"行動するNGO
「地球に良いこと」が特別なことではなく、日々の暮らしやビジネス、あるいは政策決定の場で、当たり前のように実践されていく
そんな社会を実現するため、グリーンピース・ジャパンは、科学的根拠に基づく提案、そして徹底した現場主義を軸に、
"行動するNGO"として、想いを同じくする日本中の人々と共に、環境問題に取り組む

■AAR Japan（難民を助ける会）
※インドシナ難民の支援を目的に1979年に発足した、日本の国際NGO
NGO、NPOの歴史が浅い日本においては国際人道支援において先駆者的な位置づけ
活動国は、アジア、中東など多くあり、難民支援、地雷・不発弾対策、災害支援に加え、現地における障害者の自立支援を実施
ウクライナから近隣国等へ避難された方に対しても3月から支援を開始

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

Session4 テクノロジーイノベーション経営の現在と未来

担当講師	栗山 実			
講座概要	「30年後」を議論の題材として扱うことで、事業環境がイノベーションによって大きく変わる未来を見通し、新しい時代への道筋を作るリーダーたるための俯瞰的視座を得ることを目指す。特に20世紀以来の情報技術革命やAI等の最新技術を踏まえ、次世代の産業を生み出す競争に勝ち残るための長期戦略の手がかりを採求する。 未来を創造するイノベーターたるために評論家ではなく自分事として取り組むことの重要性と難しさ、志とテクノロジーの両立によるビジネスの創造について演習を交えて理解を深める。これらを通して、テクノロジーイノベーションの時代のリーダー像を考察する。			
推薦図書	『HARD THINGS』ベン・ホロウィッツ著、日経BP社			
1日目	AM	●イノベーションによる産業転換の速度、過去と未来 ●◆「30年後」の未来を見通す企業戦略を描く	PM	●技術革新と産業構造の転換 ●◆破壊的イノベーションと自分事化 ●◆志とテクノロジーによるビジネス創造

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

Session4 公共哲学とオーセンティックリーダーシップ

担当講師	小林正弥　／　徳岡 晃一郎			
講座概要	1. どのような未来社会を創造していくのか、どのような哲学を持って、正義を定義していくのか。イノベーターシップの根幹に据えなくてはいけないリーダーとしての公共善とはなに可。またそれを具体化し、共有していく対話法について学ぶ。 2. 論理分析過多、数値管理過多、コンプライアンス過多に陥って、人間性を忘れた経営が多くなっている昨今、今一度、人間本来の内なるモチベーションを呼び起こすマネジメントが求められている。特にイノベーションを起こす時に必要になる、未来社会を創造するリーダーの熱い「思い（Belief）」をいかに育て、社員の心に火をつけるか、そのマネジメントを学ぶ。			
推薦図書	『MBB:「思い」のマネジメント 実践ハンドブック: 社員が「思い」を持てれば組織は強くなる』 徳岡晃一郎（著）／東洋経済新報社			
1日目	AM	●哲学の系譜と美徳の哲学 ●公共善、美徳とポジティブ心理学 ◆社会課題への対話型アプローチ	PM	●自分の思いを振り返る ■セルフコーチング / ストーリーテリング ◆ 思いのピラミッド

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

イノベーターシップ® 養成プログラム　セッション詳細（5）

Session5

（1）「リーダーシップ・コミュニケーション」
－イノベーターシップを起動し、知を共創する力－
（2）「イノベーターシップ実践に向けてアクションプランを考える」

担当講師	佐藤 勝彦／徳岡 晃一郎		
講座概要	よりダイナミックなイノベーションを起こすには、ますます進むグローバル化の波を利用して、多様の価値観を持つステークホルダーをひきつけ、知を共創するチームにまとめ上げていくコミュニケーション力が不可欠であり、イノベーターシップの基盤である。 しかし、残念ながらその育成の重要性が認識されていないし、その育成方法も十分とは言い難い。 世界のリーディングコミュニケーションコンサルティング会社であるフライシュマンヒラードの豊富な経験と知識、技法でコミュニケーションの本質とは何かを問いながらイノベーターとしての実践的コミュニケーション力を演習を通じて身に着ける。 2日目の最終日では、これまでの研修での学びを振り返り、「自社でイノベーターシップ風土をどう形成するか」「自身、自部門で具体的にどうアクションをとっていくのか」を各自が発表する。 また、発表内容に対して討議を行い、それぞれのアクションプランのブラッシュアップをする。		
1日目	AM：● リーダーアズコミュニケーター、コミュニケーションとは何か？　編集力を磨く ■ エレベータートーク	PM：● スピーチ分析 ◆ 分析発表 ■ 経営方針原稿作成 ■ 同発表 ◆ 評価	
2日目	AM：■ 課題発表 ： イノベーターシップ風土を創る、アクション表明 ◆ 上記発表に対してグループ討議、全体討議	PM：● 全セッションの振り返り ◆ これからどういうＡｃｔｉｏｎをとっていくのか ■ パネルディスカッション ： 徳岡×佐藤 <最終日終了後懇親会を予定しています>	

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

イノベーターシップ養成プログラム全体の内容はいかがでしたか？

2021年度参加者からの声

- 人生をどう生きるべきか、そのために、物事をどのように考え、とらえるべきか。**根幹の考え方を学ぶことが出来た。**

- **講師陣の方の優秀さ、且つ懐の深い人格者の方ばかりであった。**研修講師と言うと「優秀な人・事案を紹介する人」が多い印象だが、本件は優秀であり、事案に自身で対峙している人そのものが講師であった点が特長と認識。

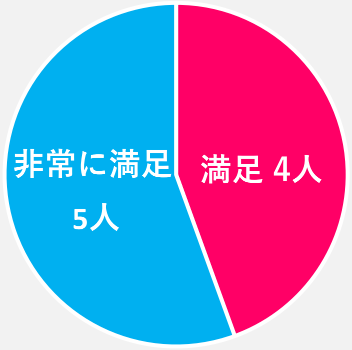
- 多種多様な方の講義を聴くことができた。異業種の方と交流する場を持てた。

- 幅広い視野での講義とともに、**自分の興味の偏り、知見の課題について**向き合うことができた。

- イノベーターシップというこれからの時代に必要な考え方が学べました。先生方、他の受講生とのグループワークで日頃では指摘されない指摘を受け、自身を客観的に見ることが出来ました。

- 普段の業務とは異なる**多角的な視点で自分たちの業界・ビジネスの位置づけや置かれている状況が理解できるようになった。**また、新しいビジネス、商品・サービスを考える上で必要なアプローチやモチベーションも高まった。

- 自己成長に向け手詰まり感があったところ、イノベーターシップという考え方に基づき第一線でご活躍の方々から直接お話を伺うことができ、知見が深まりました。普段の**業務では中々経験できない貴重な場を通じて、物の見方・考え方が変わった感があり**、自身としてこれから取り組んでみたいことが見えて来たように思います。



受講者9名中9名が回答

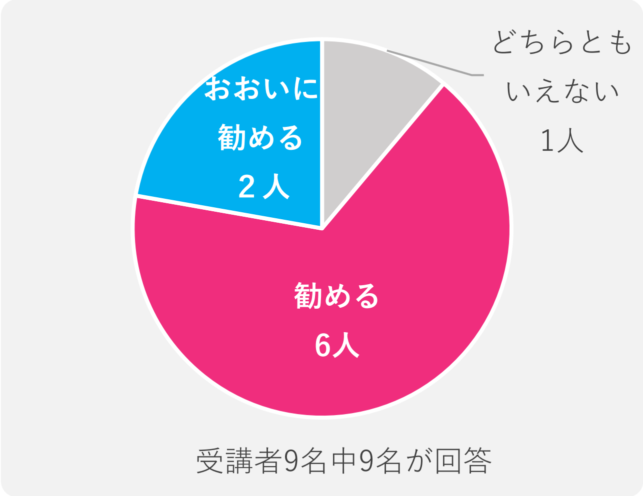
※太字強調は弊社

LiFESHIFT

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

周りの人にイノベーターシップ養成プログラムの受講を勧めますか？

2021年度参加者からの声



- **人生、学習、仕事を考える良い機会になる。** ３０代のリーダーが適任と考えました。
- **起業（スタートアップ）を考えているが動き出せない方は適任**だと思う。
- 進める方について相当考慮が必要であると考える。
  日ごろより課題意識の高い方、自分だけの専門性や得意領域をきわめていきたいと
  思っている方でないとついていけないと考える。
- 正直私は参加タイミングが少し遅かったように思います。
  40歳前後で**新しい考え方、ビジネスモデルを創造できる方が最高に効果が出そう**です。
  もちろん、始めるのに遅すぎることは無いので、このプログラムをきっかけに自分を変革していきます。
- 何かをやり遂げたいという想い、信念のある人、風土を変えることができる経営者（に勧める）
- 管理職の中で役員を目指す方（に勧める）
- **経営幹部候補、もしくは何かことを始めたい、と考えている若手・中堅メンバー**（に勧める）

※太字強調は弊社

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

開催方法および費用

- **定員：12〜16名程度**
- **対象：次世代を担うリーダー層（課長手前から課長層が主に参加されています）**
- **開催形態：Zoomとリアルのハイブリッド方式（コロナの感染状況により随時調整します）**
- **費用：１社１～２名程度　600,000円（消費税別）**
  - （但し、2名以上参加の場合、1名あたり500,000円（税別））
  - 費用に含まれるもの：テキスト代、課題図書代
  - 含まれないもの：交通費、食費、懇親会参加費
- **お支払い期日：2022年10月末日（2022年9月ご請求書発行）**
  - お支払いについては、株式会社ライフシフトよりご請求書を発行いたします。
  - 個社のお支払いタームの制約ございましたらご相談ください。
- **応募期間：2022年5月1日〜8月31日（定員に到達次第終了）**

■お申込み方法：

お申込書をご送付申し上げますので、弊社担当者にご連絡いただくか、もしくは下記フォームまで送付先登録をお願いいいたします。担当者より詳細ご連絡させていただきます。

https://form.run/@life-shift-isp

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

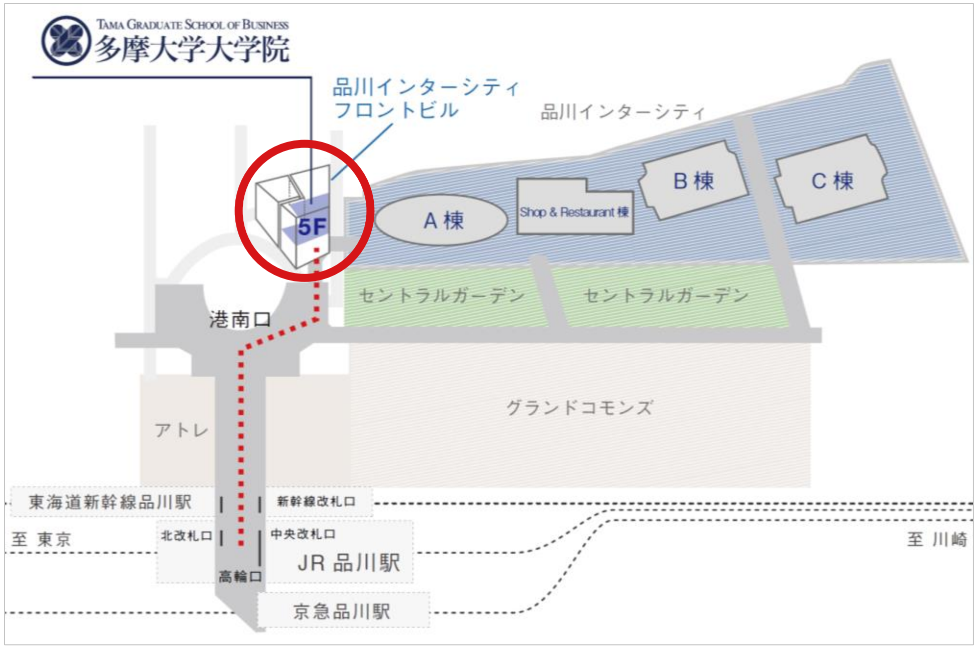
会場案内（対面参加ご希望の方）

ご自宅やオフィスからのオンライン（Zoom）でも、下記会場参加での対面でも、各自の選択性で受講できる柔軟なハイブリッド型での実施体制を整えております。

会場

多摩大学大学院（品川サテライト）

〒108-0075
東京都港区港南2-14-14
品川インターシティフロント5階
TEL 03-5769-4170(代)　FAX 03-5769-4173



アクセス

電車(JR在来線・新幹線および京急)でお越しの方

(1) JR及び京急で「品川駅」下車。
　港南口出口へお進みください。
(2) 港南口を出ますと、そのまま品川インターシティに
　続く歩道橋があります。
(3) 正面、品川インターシティフロントビルに入り、
　エレベーターで5階にあがってください。

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

ライフシフト社の事業分野

コーポレートメッセージ

キャリア ×　イノベーション ＝ ライフシフト
［アセット］［チャレンジ］［レジリエンス］

LiFESHIFT

パーパス

日本のキャリア自律文化を
創造し、活力ある
社会づくりに貢献する

ビジョン

**“キャリア×イノベーション＝ライフシフト”
が当たり前の世の中へ**

ミッション

人生100年、80歳現役の
時代を豊かに生き抜く
「生き方改革」をサポート

研修事業

ライフシフト（キャリア）研修

- ベテラン層向け
- ミドル層向け
- 若手層向け
- キャリアコーチング

企業内講師養成も可能

ライフシフト大学
（キャリアデザイン／ビジネススキル学び直し）

- 異業種参加型
- 企業単独開催型
- キャリアコーチング

企業内講師養成も可能

リーダーシップ/マネジメント研修

- 管理職向け/経営者層向け
- グローバルリーダー(経営幹部候補)向け
- コーチング/メンタリングなど

シンクタンク事業

知識創造ラボ

- 人事戦略コンサルティング
- 組織風土改革
- イノベーション促進
- ダイバーシティ

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

ライフシフト社のソートリーダーシップ

『デジタルマネー戦争』
房広治、徳岡 晃一郎 (著)
フォレスト出版 2021年

『ミドルシニアのための日本版
ライフシフト戦略』
徳岡 晃一郎、木村勝 (著)
Wave出版 2021年

『なぜ学ぶ習慣のある人は強いのか』
土屋裕介、佐々木弘明、徳岡 晃一郎 (著)
日経BP社 2021年

『40代からのライフシフト
実践ハンドブック』
徳岡 晃一郎 (著)
東洋経済新報社 2019年

『人工知能×ビックデータが
「人事」を変える』
福原正大、徳岡 晃一郎 (著)
朝日新聞出版社 2016年

『未来を構想し、現実を変えていく
イノベーターシップ』
徳岡 晃一郎 (著)
東洋経済新報社 2016年

『ミドルの対話型勉強法』
徳岡 晃一郎 (著)
ダイヤモンド社 2013年

『MBB：「思い」のマネジメント
実践ハンドブック: 続編』
徳岡 晃一郎 、舞田 竜宣 （著）
東洋経済新報社 2013年

『ビジネスモデル・イノベーション-
知を価値に転換する賢慮の戦略論』
野中 郁次郎 、徳岡 晃一郎 (著)
東洋経済新報社 2012年

『MBB：「思い」のマネジメント：
知識創造経営の実践フレームワーク』
一條 和生 、徳岡 晃一郎　野中 郁次郎 (著)
東洋経済新報社 2010年

『世界の知で創る –
日産のグローバル共創戦略』
野中 郁次郎 、徳岡 晃一郎 (著)
東洋経済新報社 2009年

『シャドーワーク知識創造を促す
組織戦略』
一條 和生、徳岡 晃一郎 (著)
東洋経済新報社 2007年

© LIFE SHIFT INC. All rights reserved.

人生100年、80歳現役の時代を
豊かに生き抜く
「生き方改革」をサポート

LiFESHIFT

Innovatorship
現実を変革する思いと実践知

TAMA GRADUATE SCHOOL OF BUSINESS
多摩大学大学院

株式会社 ライフシフト　東京都港区高輪3丁目23-17 品川センタービルディング7階 703 ｜ Tel. 03-6456-2912 ｜ https://life-shift.net